

問 村の公共交通に対する考えは

答 庁内で議論を始めています



太田伸子 議員

【地域交通について】

問 高齢運転者の交通事故防止策として、自主返納を推進しているが、過去1年間の返納者の人数とサポート体制は。

答 村長 過去1年間で21名。自主返納者の交通を支援するために、デマンドタクシーの利用券を33枚交付しています。

問 33枚では往復2枚使うとすれば1ヶ月にも足りないが。

答 健康福祉課長 33回使っていたことで、使用方に慣れていただくことが目的で、お試し使用の意味があります。

【医療と福祉】

問 第5次総合計画にある高齢者福祉の基本目標の、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるしくみとは。

答 村長 村の高齢者福祉計画の基本目標のひとつでもあり、実現するために地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。地域包括ケアシステムとは、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される社会システムです。

問 高齢化社会を迎えるにあたり、村の介護計画は。

答 村長 策定中の北アルプス広域連合第7期介護保険計画との整合性を図りながら、村の高齢者福祉計画の中で定めていきます。

問 老々介護が普通の生活の中で、特別養護老人施設の入所が心配されるが、足りているのか。

答 健康福祉課長 今は、3ヶ月から1年の間で入所してもらっています。

問 介護するものにとつての3ヶ月は長い。特別養護

答 健康福祉課長 今は、3ヶ月から1年の間で入所してもらっています。

問 介護するものにとつての3ヶ月は長い。特別養護

答 健康福祉課長 今は、3ヶ月から1年の間で入所してもらっています。

問 介護するものにとつての3ヶ月は長い。特別養護

答 健康福祉課長 今は、3ヶ月から1年の間で入所してもらっています。

問 介護するものにとつての3ヶ月は長い。特別養護

答 健康福祉課長 今は、3ヶ月から1年の間で入所してもらっています。

問 介護するものにとつての3ヶ月は長い。特別養護

答 健康福祉課長 今は、3ヶ月から1年の間で入所してもらっています。

老人施設の建設の検討をお願いしたいが。
健康福祉課長 前向きに検討していきます。

問 さのさかスキー場の営業継続の所見は

答 心から嬉しく安堵しました

【冬季観光について】
問 営業が懸念されていた、白馬さのさかスキー場の

今季の営業継続についての所見は。

答 村長 厳しい状況下、運営を判断頂いた企業には大変感謝申し上げます。しかし、出遅れは否めず、村及び観光局では白馬さのさかスキー場が今シーズンも元気に営業するという情報発信に努め、例年以上に賑わうことを願っています。

訂正

前回122号の学校給食施設建設質問の答えの中で「契約金額は基本設計予定価格22,743,200」となっていました。正しい金額は「2,743,200」です。訂正してお詫び申し上げます。



どうなる今後の公共交通